

山形県の古木・名木 No.105

紫山夫婦センノキ (むらさきやまめおとせんのき)

最上郡舟形町舟形 紫山地内

舟形町櫻坂(くぬぎざか)の山神神社に幹周7mの全国三位のハリギリがある。ハリギリは、地方ではセンノキと呼ばれることが多く、隣に幹周5.2mのハリギリがあるため夫婦センノキとも言われている。樹齢は約六百年で、樹高は25mある。

展開したばかりの芽は、同じウコギ科のタラノキやコシアブラと同様に山菜として食用にされる。木材としては、ケヤキに似た木目を持つことから櫻の代用品として使用される。
【山形県森林協会】

(案内略図)



【森林やまがた132号(2011年3月)記載】

紫山町
内会
議事
報告書

夫婦せんの木(ハリギリ)
枝にわかれし妻を持つ姫柳で葉がなだらかな葉を以て
て、うらわしいばかり、ハリギリとよばれる種類で、
セイの木、あるいは、ツノの木、と呼ばれること
これが最も多くです。和歌などでは「夫婦せんの木」
風の「ハギ」が正式名で、
「ハギ」は木のハギの名前で、
「ハギ」が正式名で、
大ガウンド十十五メートル、幹周セントール、
高い樹冠四十メートル、幹周セントール、
大な木幅四十メートル、幹周セントール、
小お全国十二位医薬として
していふところがございました。(西側、西木清義セ
ンカ、農場)
樹齢は、もとより、五百歳と算定されてゐます
が、昭和の大震災や震源地帯と震上地の争ひや、ややあ
年代にかかる合併等、近へは古樹保護の諸の運
営を担当せられた木とおぼえます。アーティス
トなどは、せんやせんの名の由来で、アーティス
トであるのです。ソシエテは、アーティス
トの妻や娘等といふ意味です。眞説で、いへ
た目などからいふと、アーティス(佐佐尾)
氏族は、とんちやういんの森櫻谷を家業その
ものを入れる現などをこのハリギリを使つて作
つてゐたのだろうと思ひます。

平成十九年六月